

手を洗おう会 aphw 会報



Association for the Promotion of Hand-Washing

第八回 世界の子供絵画展 テーマ：未来の世界



最優秀賞：

ワンナヤ ガエントムタム

6歳 女の子 タイ

< 未来の地球は緑の地球、みんな仲良く 手をつなごうね！ >

第九版 2012年6月発行



手を洗う習慣と安全な水

「手洗おう会」監事 高松章二氏からのメッセージ

「手を洗おう会」が活動を始めてから今年で 10 周年を迎えるとのこと、同じく開発途上国で水や衛生に関わるプロジェクトに携わるひとりとして心よりお慶び申し上げます。

<セネガルの首都にて>

会の目指す衛生教育は、私どもが仕事で目指す安全な水の供給と不可分のものです。清浄な水がなければ手を洗うことはできませんが、手を洗う習慣などの衛生概念が醸成されないと清浄な水の大切さに気づかないともいえます。

「手を洗おう会」の活動場所でもあるアフリカやアジアの開発途上国では、今日でも安全な水を得るために遠くの水場へ通うなど多大な苦勞を強いられている人々がいます。安全な飲料水の重要性を知るがゆえの努力ですが、せっかく苦勞して得た清浄なはずの水が汚染された手によって口に届く前に安全ではなくなってしまうなら、それはもったいないことです。

手を洗うという非常にシンプルな行為ですが、それによって健康な生活が守られることを知り、習慣とすることの大切さが、これからも会の活動で世界中の多くの人々に伝えられてゆくと信じます。

— 目次 —

- P 1 : 手を洗う習慣と安全な水 高松 章二
- P 2 : 十周年に寄せて 内野 訓子
- P 3 : ベトナムの人々のゴミ意識を通して感じる事
JICA 青年協力隊員 海老原 優
- P 4 : 設立十周年を記念して
パリ市主催のイベントに参加
- P 5 : パリ日本月間に参加して
セネガル支部 カメリア アヤド
- P 6 : 東北支援レポート 星 直代
- P 7 : 2011 年度子ども絵画展 タイトル
未来の世界報告 & 2012 年度絵画募集
- P 8 : 2011 年～2012 年の「手を洗おう会」
活動報告 & 会費納入のお願い
- P 9 : 会計報告 (2011 年 1 月～12 月)

「手を洗おう会」十周年に寄せて

内野 訓子



遠い遠いセネガルに古屋さんをお訪ねしたのはもう十年以上も前。

「セネガル」、地図で探してもアフリカのどのあたりかも見当もつかない未知の国でした。想像するのは砂漠とバオバブ。ダガールは街の名前だけ何もかも知らない事ばかり。一週間の滞在中一番の印象は子供達の笑顔、美しい白い歯、大人は皆おしゃれ、スタイルは抜群、親切だし町並みは立派、でも車で20分も走るとやはりバオバブの林そしてヤシの葉でふいた屋根の家々、それでも東京に住む私にとってはパラダイスの様に見えました。

古屋さんが、御主人様の任務の帰国後、彼女が熱く語るセネガルの、衛生面の改善の必要性。教育、文化交流など現地での活動に耳を傾けながら私でもお手伝いできる事があればと、数人の心ある方々と2002年11月にボランティアの会「手を洗おう会」を立ち上げました。

手で食事をするセネガル人、しかも長老から順に同じ器で乳幼児の口に食べ物が入る頃には雑菌がいっぱい。結果、下痢 赤痢 腸チフスなど、子供の死亡率も日本やフランスの数十倍とか。まず私たちは衛生面から「手を洗う」習慣の運動から、第一歩は石鹸の配布を決めました。色々試行錯誤もありました。

次に子供絵画を通してその国の文化を知り交流をはかる事で子供絵画展を企画。しかもフランス ヴェトナムと海外協力を得て会員も徐々に増え順調に会も発展していましたが、突然、古屋さんの御主人様の転勤（南アフリカ大使に）に伴い会長不在の会、不慣れな私はとにかく会長の帰国まで会をつぶさない事だけを心に決めて無駄は一切しない出来るだけの事と会員の皆様との親睦と絆を深める時間とし、会員の文化活動を中心に絵画展、祭典で過ごした約三年。会長帰国後は皆様もご存知の通り南アフリカ 中国…等絵画展の海外参加国も増えセネガル ヴェトナムへの石鹸、消毒剤支援、青年協力隊支援。国内では講演会、音楽会、祭典と年々賑やかに楽しい会に発展いたしました。

この十年は長かったようでもあり、あっという間だった様な気が致します。昨年は会の国際社会での活躍をより発展させるべく五月に特定非営利活動法人（NPO）として登録も完了致しました。

「手を洗おう会」は一步一步と活動を十年、皆様のお蔭で続けてまいりました。これからも皆様のご協力よろしく願いいたします。

地球上の人々が健康で平和で平等に暮らせる日々になります様にと願っております。



< パリの日本月間でお茶の文化紹介をする内野宗訓



& 茶会の様子 >

ベトナムの人々のゴミ意識を通して感じること

JICA 青年協力隊員（ベトナム派遣） 海老原 優

まず始めに、簡単に自身の活動の紹介をさせていただきます。私は、2010年の3月より、JICA青年海外協力隊の美術隊員としてベトナム南端のカマウ省にあります、カマウ特別支援学校に派遣され、聴覚障害者を対象に美術の指導をしています。

こちらにきてもう1年と10ヶ月余りが過ぎ、（全部で）2年の活動期間もあと残りわずかとなりました。これまでこちらで過ごしてきた時間、触れてきたものを振り返りながら、衛生、環境、国際協力という観点で自身が考えたことを、ここにご報告させていただきます。衛生、環境という点で、今自分がいる地域の現状を見つめてまず目につくのは、



川、街中、路上、その他あらゆる場所に大量に落ちている”ゴミ”です。ベトナムでは一般的に、家の中にゴミを置いておくのは良くないとされていること、皆家の中はきれいなのに、一歩外に出ればゴミだらけ、という現状があります。ベトナム国内の多くの街の路上はゴミが多く雑然としていて、人々のゴミに対するマナーも悪いという印象が強いです。ベトナムは物質的にもどんどん豊かになってきています。

〈ゴミを捨てて汚れて濁っている川〉

石鹸、手ふき用ナプキン等も広く利用されていますし、自分の身を清潔に保つことへの人々の関心も、一般メディアの影響などにより、急速に高まってきているように感じます。ただ、不用になったものはその場でポイ捨てするのが当たり前という習慣が身に付いてしまっている人が多く、衛生への関心が環境に目を向けることに繋がっていないのを、とても残念に感じています。配属先では、ゴミはゴミ箱に捨てるよう子供達に指導していますが、各家庭、街中でマナーの悪い大人の振舞いを見ている子供達に、ゴミのマナーを定着させるのは大変困難です。

さらにここで視点を日本に転じると、日本人は逆に、衛生面への過剰な関心により、ティッシュやナプキンなどが何を原料にして作られ、どのように自然に還っていくのかを意識せずに、多用し過ぎているように見受けられます。様々な物の衛生を保つために使われる洗剤も、最終的にはどのように環境に還元されるのか、大多数の人が意識せずに使用しているのではないのでしょうか。より多くの人達が衛生、環境両面において、人にも環境にも優しい選択をしていく事を、もっと意識をし、実践してほしいと自戒をこめて思います。



ゴミ処理場や下水道の整備をこれから行っていくとして後進国に対してはその技術のノウハウを指導し、逆に後進国からは、昔から受け継がれて現在も残る、自然素材の上手な活用法を学び、後進国においてあからさまに浮き彫りになっているゴミ問題を見つめることで、自国の環境と人々の生活様式を再度見つめ直してみてもいいのではないでしょうか。

〈絵画の授業に熱中する視聴者障害の子どもたち〉

地球の反対側で起こっていることも、巡り巡って自分たちに還ってくることを自覚し、長い目で見てお互いの為になるよう、良い部分をシェアし合うことは、国際協力に限らず様々な分野で、これから先さらに大切になってくるのだらうと、この協力隊事業に参加して改めてその思いを強くしました。

『手を洗おう会』の設立十周年を記念して

パリにて、4月7日から5月5日まで開催された『日本月間』で、拙会主催の子供絵画展を初めとして、ティセレモニー、日本舞踊、日本の歌、着物ショー、気の運動、折り紙など日本の文化紹介をする機会を得ました。この機会に各国の責任者が一堂に会することもできました。雨天の多い日々でしたがこの度参加したあらゆるイベントが決行できましたことは、東京の会員はもちろん、パリや各国の会員そして有志の方々のご協力の賜以外の何ものでもありません。Merci Beaucoup!!!!



＜賑わう絵画&活動写真展（左） パリでのイベントに協力してくれたカトリーヌ、蓉子、アラン、直子、百恵＞



＜左から折り紙などの販売をする香奈子&朝子、フォン・ベトナム責任者、歌のショー、舞踊ショー、折り紙のアトリエ＞



＜参加者の多くが出席した着物ショー・二歳の愛子ちゃんも元気に参加。三日間、ショーは公演された＞



＜セネガル、ベトナム、フランスなど各国の責任者が一堂に会した顔合わせの集い＞

パリ 日本月間に参加して

『手を洗おう会』セネガル支部・会計担当 カメラ・アヤド

親愛なる『手を洗おう会』の皆さま、

ジャルダン・ダクリマタシオンでのイベントにおいて、皆様とともにひとときを過ごさせていただいたこと、たいへん光栄に思っております。受賞したセネガルの子どもたち、私自身も、手を洗おう会が手を清潔にすることにどんなに気を配られているかということに大変感銘を受けました。

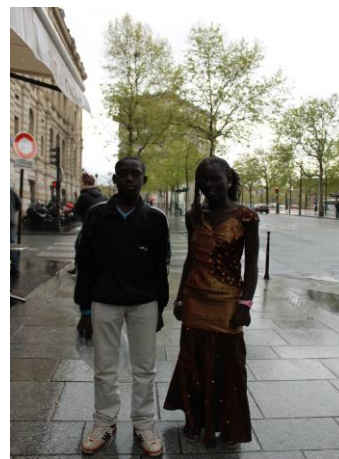


<絵画優秀賞受賞式典(左) & 列席した小松まり駐仏・日本大使夫人、アヤッド女史、ジョン責任者>

セネガルへ帰国しすぐに、生徒の保護者の方と会う機会を持ちましたが、特にお母様たちが大変喜ばれていました。というのも、通常匙を使用せずに食べる子どもたちですが、食事をする前に手を洗うようになってくれたことをお母様たちが打ち明けてくれました。

また、手を洗おう会の皆様が絵画優秀賞の子供たちをヨーロッパに招待してくださったこと、そうすることで彼らは会の皆様が尽力されていることを間近に見ることが出来ました。その様子を見てセネガルの責任者マムール・ジョン氏と私は、子供たちに手を洗うことの大切さを認識してもらうことに『手を洗おう会』の皆様が成功したと確信致しました。

保護者の方々にかわり、今後も末永く皆様が栄誉ある活動を続けられることをお祈り申し上げます。それがまさに私たちにとって素晴らしいプレゼントとなります。私自身も日本の着物を着せていただく機会を頂きました。セネガル参加者一同、感謝で一杯です。



<セネガルから招待したハティム君&マムジャーラちゃん>

<凱旋門をバックに記念撮影>

*他、ジョン・セネガル責任者、フォン・ラン・グエンベトナム責任者、野村舞衣理事からもメッセージが届いています。

東北支援レポート

星 直代

2011年3月11日、東日本大震災が起きた。手を洗おう会は赤十字を通して義捐金を送り、支援策についても話し合ったが進展はなく日々は過ぎた。夏近くに宮城県在住の会員 神坂さんから直接被災地の惨状を聞き、送られてきた情報により、支援先の幼稚園が決まったのでした。その幼稚園は気仙沼市にあり326名の園児がいる葦の芽幼稚園。幼稚園は津波に襲われた所と高台の2ヶ所に分かれていました。幼くして過酷な体験をした子供達と、手洗い指導を通してどんな時間が過ごせるのかを話し合い、持って行くものは人気のある紙芝居だが、更に立体的になるよう芝居の中に出てくる子供や動物は作り直しました。絵画展の海外の子供の絵はゆっくり見てもらえるように前もって送り、手洗いを率先してもらえるよう、「手洗いの歌」も譜面と歌詞を送り、覚えてもらう事にしました。



＜子供達からお礼のカードをもらって記念撮影＞



＜一生懸命手洗いをする園児たち＞

私たちが高台の幼稚園に到着すると、津波に襲われ修復中の幼稚園に通っていた園児と高台の園児、併せて年長組118名が待っており、紙芝居を真剣に見て歌はすっかり覚えて、元気な声で会員とも一緒に歌ってくれました。手洗い指導は当会員でもあり園田女子大学人間看護科准教授 山本恭子さんより、手を洗う前と後が一目でわかる蛍光ボックスに手をかざしたりと、熱心に指導を受け、その必要性和重要性を学んでいました。

私たちに取っていても楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後にメナードさんの協力により提供された沢山のプレゼントが手渡されました。園児と別れてから、帰り道に熊谷先生の案内で被災地を視察しました。荒涼と続く地の先に海が見え、吹く風の匂いの中に立って聴く、被災者でもある葦の芽幼稚園の熊谷先生の話に、みんな言葉もなく迫りくる恐怖を感じたのでした。

この度の被害には息の長い支援が必要なことを考え、この幼稚園に年間で使用する石鹸を送る約束をいたしました。

今回の支援が手を洗おう会の初めての国内支援となりました。この活動の実現は、東北の会員と全会員のご協力が実を結んだものと思います。

2011年度 子ども絵画展 タイトル:未来の世界

第8回「子供絵画展」のタイトルは「未来の世界」でした。セネガル、ベトナム、インドネシア、タイ、フランスそして日本の6カ国から390枚に及ぶ応募がありました。昨年は東北大震災など暗いニュースが多かったのですが、子供たちの絵は夢のある進化した未来の世界が描かれていました。

さて、今年は今回の優秀作品及び過去の優秀作品総数72枚をパリ、アクリマタシオン公園にて1ヶ月間展示いたしました。パリは天候が悪く連日の雨と寒さでしたが、そんな中でもたくさんの方々に作品を見ていただきました。また今年は「手を洗おう会」創設10周年を記念致しまして、セネガルから最優秀賞受賞者、マメ・ジャーラ・ンベングさんと APHW 審査員賞受賞者、ハディム・ンバイ君を招待しました。公園内の会場で授賞式を行い、セネガルからの受賞者がフランスの受賞者数人と共に、小松駐仏・日本大使夫人から賞状を授与されました。

＜パリの展示会場で絵画に勤しむ子供達＞

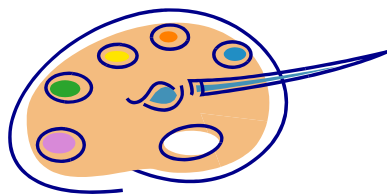
フランスの受賞者数人と共に、小松駐

仏・日本大使夫人から賞状を授与されました。



＜授賞したマメ・ジャーラさん＞

2012年度のタイトルは10年目を迎え、心新たに「手洗い」の大切さを考えて頂くために原点に帰り「手を洗おう」に致しました。今年も、沢山のご応募をよろしくお願いいたします。



2012年度 第9回 子供絵画展

“手を洗おう会”では本年もセネガル、ベトナム、フランス、南アフリカ、タイ、インドネシアそして日本などの小学生から楽しい絵を募集しています。

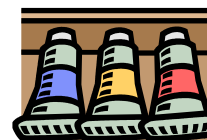
対象 : セネガル、ベトナム、フランス、南アフリカ、タイ、インドネシア、日本などの小学生

題 : 「手を洗おう」

画用紙サイズ : 八つ切 (A3も可)

画材 : 色鉛筆、絵具など何でも可

締切日 : 2012年 11月30日



子供絵画の問い合わせ先

杉浦 保子

TEL 044-853-1397

Mail: sugiura@ne.catv.ne.jp

2011年～2012年の「手を洗おう会」 活動

2011年度活動報告

5月 第7回子供絵画展示会が、17日から29日までJICK地球広場で開催されました。タイトルは『私の町』でした。

7月 夏の特別講演会 4日に代官山アシダジュン「フレアー」で生駒 芳子氏により『エシカルライフ フアッションと食事で世界を変える』と題しての講援会が開催されました。

11月2日 東北震災支援 気仙沼の葦の芽幼稚園へ手洗い指導と石鹼支援をしました。

11月 7日 チャリティランチ「冬の祭典」 報告 三村 愛子

冬の祭典は11月7日 ウェスティンホテル楓の間に、土屋 のり司会のもと、Gert Globler 在日・南アフリカ大使の乾杯の音頭で始まりました。

沼尻シェフのフレンチ。前菜 メイン デザートに今年も堪能！ この度沼尻寿夫シェフはフランス農事功労章オフシェ受勲をいたしました。会からも、心よりお祝いを申し上げます。

池上清子氏の講演は170余名の会場がシーンとなる程の内容でした。 続いての

Bouna Simou Diouf 在日・セネガル大使のお礼の言葉に感動。

そして、パネルで写真を提示した東北支援報告に、一同厳粛な気持ちで耳を傾けました。

また創造と色彩に溢れた子供絵画は、我々を存分に楽しませてくれ、プログラム最後の黒田 恵美さんの歌声の素晴らしさに会場が酔いしれました。

メナード製品を初めとしたバザーも好評のうちに、祭典は幕を閉じました。

*祭典にて総会に向けて過半数の委任状を受理致しました。

2012年度活動

4月7日～5月8日までパリエント。 ブローニュの森、アクリマタシオン公園での「日本月間」に『手の技から生まれる日本のこころ』と題してイベントに参加しました。

5月28日～6月10日 子供絵画展テーマ「未来の世界」をJICK地球広場で展示。
6月10日はワークショップ。

7月14日(土) 夏の音楽会。 代官山 ブディック アシダ サロン フレアー。

11月12日(月) チャリティランチ「冬の祭典」&総会。 ウェスティンホテル楓の間。

会員の皆様へ

2013年度の会費納入のお願い

いつも「手を洗おう会 aphw」へのご支援ご協力に感謝いたします。

年会費 → 3000円

振込先 → 三菱銀行UFJ銀行 上北沢支店 (160)

口座番号 普通預金0028934

口座名 テヲアラオウカイ アピュウ カイケイ ムラカミ ノリコ

* 11月12日の冬の祭典までに、貴方様のお名前にてお振込み下さい。

* 領収書が必要な方は、下記担当までご連絡下さい。

村上範子 Tel:03-3329-3290 。 an2n-mrkm@asahi-net.or.jp

会員と会員以外の皆様へ

募金 「手を洗おう会」では石鹼や洗剤などを東北被災地やセネガルやベトナムの学校等に寄付する募金を募っております。

上記の口座にお振込み頂きますようお願いいたします。

会計報告

<2011年度手を洗おう会 aphw 収支書>

2011年1月～12月

【収入】			
科目	種別	摘要	金額
準備金	繰越金	2003年から2011年度NPO法人成立前までの繰越金	¥5,000,000
会費など	会費	2011年度会費 @3,000円×111名	¥333,000
事業費		4カルチャー事業(絵画展)	¥12,800
		4カルチャー事業イベント(講演会)	¥122,140
		5チャリティランチャー冬の祭典(平成23年11月7日ウェスティンホテルにて)	¥254,075
寄付金	寄付募金	チャリティランチャー冬の祭典(バザー&ホテルから寄付)	¥541,825
		エレガントアクティビティによる協力金 & 法人成立前の繰越現金	¥557,723
		収入計(①)	¥6,821,563
【支出】			
科目	種別	摘要	金額
事業費		1セネガル支部(内訳)石鹸代・消毒剤代等	¥131,210
		1ヴェトナム支部(内訳)石鹸代・消毒剤代等	¥116,858
		1東北支援(日赤義援金&会員への見舞金&気仙沼支援)	¥415,188
		2上記以外の海外衛生支援費用(インドネシア)	¥1,200
		3JICA青年協力隊支援費(ベトナムの海老原優協力隊員へ)	¥150,000
		4海外絵画支援費(ベトナム、セネガルへの画材支援など)	¥10,150
		4絵画会場費用(2012年度フランス準備&広尾地球ひろば)	¥15,750
		4絵画入選・広報作成費	¥1,100
		5法人化費用&会報作成	¥161,175
管理費	ア:会場費	講演会&スタッフ会議等会場費	¥5,000
	イ:通信費	絵画・賞状・絵葉書・会報等郵送料	¥9,760
	ウ:印刷代	コピー・賞状代等	¥10,230
	エ:事務用品	ファイル・インク代	¥40,280
	オ:交通費	NPO法人化への税務署法務局などへの移動費&定例会への交通費	¥54,500
	カ:雑費	パネル代・JICAロッカ一年間賃料等	¥4,855
		支出計(②)	¥1,127,256
収益(①-②)			¥5,694,307

(会計)村上

(監査)塩澤

*2013年度の会費納入は8ページをご覧ください(この会報は2012年度会費納入の皆様へ配信しております)

*会計、及び領収書に関しては、右担当までご連絡ください。村上範子 Tel:03-3329-3290

2012年6月6日 「手を洗おう会」理事 前田一さんをご逝去されました。心よりお悔み申し上げます。

会報係から: 皆様のご協力のお蔭をもちまして、今年では会設立十周年を迎えました。その記念として会報の一部をカラーにいたしました。

2012年6月 北島桂子